



9月 定例会 あまし

9月定例会は、9月4日から14日までの11日間の会期で開かれました。今定例会では、平成29事業年度公益財団法人経営状況報告、平成29年度一般会計歳入歳出決算等決算認定、平成30年度一般会計補正予算等合わせて41件が提出され、決算認定の9件については継続審査、他の32件については、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決、採択となりました。一般質問では、8人が登壇し、活発な議論が展開されました。

☆報告案件（8件）

・報告第5号 平成29事業年度公益財団法人厳原愛育会経営状況報告等について

☆認定案件（9件）

・認定第1号 平成29年度対馬市一般会計歳入歳出決算の認定については、決算審査特別委員会に付託され継続審査、平成29年度対馬市診療所等特別会計歳入歳出の決算は、各常任委員会に付託され継続審査となっています。

☆予算関係の議案（3件）

・議案第55号 平成30年度対馬市一般会計補正予算（第3号）等について（歳入歳出それぞれ1億6,630万円を追加し、補正後の予算額は32億2,870万円となります。）

☆条例の議案（4件）

・議案第60号 対馬市養護老人ホーム条例を廃止する条例等について（対馬市養護老人ホーム丸山及び対馬老人ホームを民間に移譲することに伴う廃止条例です。）

☆財産の無償譲渡等関係の議案（7件）

・議案第67号 市有財産の無償譲渡について（対馬市養護老人ホーム丸山移譲に伴い、建物及び備品について無償譲渡を行うので議決を求めるものです。）

☆辺地に係る計画等についての議案（3件）

・議案第62号 辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画等について（辺地に係る公共的施設の整備計画のうち、9辺地に係る新規、変更事業について、議会の議決を求めるものです。）

☆契約に関する議案（2件）

・議案第65号 工事請負契約の締結等について（難知中学校校舎増築工事に係る工事請負契約の締結について議会の議決を求めるものです。）

☆同意第2号 対馬市農業委員会委員の任命について（2件）

☆諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について（2件）

☆陳情第2号 未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の堅持を求める要請書（1件）



委員会審査報告

議会において、提出された議案等を慎重に審査するため、所管の常任委員会に付託することができま。各委員会は、付託された議案等を、詳しく審議し、議案等の可否を採決し、委員会としての意思を決定します。委員長は、審査報告書を議長に提出し、本会議において報告をします。今定例会においては次のとおり審査報告がなされました。

総務文教常任委員会

委員長 春田 新一

○付託された案件（2件）

- ①平成30年度対馬市一般会計補正予算（第3号）
- ②未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の堅持を求める要請書

○審査内容

- ①本委員会に付託された議案第55号、平成30年度対馬市一般会計補正予算（第3号）のうち、所管に係る歳入は、地方交付税の追加、美津島町平瀬原地区集会施設建設事業による市債の追加等、2款総務費（2項徴税費を除く。）及び10款教育費であります。

主な審議事項については、歳入においては、10款地方税の追加、歳出において、地域住民の活動・交流の拠点として建設する美津島町の平瀬原地区集会施設建設事業費、小学校3校のトイレ洋式化の工事請負費等が予算補正計上され、本委員会で、慎重に審査し、採決した結果、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

- ②義務教育費国庫負担制度は、憲法の要請に

基づき、全国どこで学んでも子どもたちが等しく教育を受けることができるとともに自治体間における教育水準に格差を生じさせないようにするため制定されたものである。こうした観点から、提出された要請書の趣旨は十分理解できるものである。本委員会は、採決の結果、賛成多数により採決すべきものと決定しました。

厚生常任委員会

委員長 齋藤 久光

○付託された案件（1件）

- ①平成30年度対馬市一般会計補正予算（第3号）

○審議内容

- ①本委員会に付託された議案第55号、平成30年度対馬市一般会計補正予算（第3号）のうち、所管に係る歳入は、高齢者生活福祉センター「ピアハウス」のスプリングラー設置工事に伴う国庫補助金の追加、諸収入として県道改良に伴う内山老人憩の家移転補償費、建設に伴う市債の計上が主なものです。

歳出においては、国民年金事務費における日本年金機構との情報連携システムの改修委託料、高齢者生活福祉センター「ピアハウス」のスプリングラー設置事業費、内山老人憩の家建設工事費、佐賀保育所におけるクラス編成等で柔軟に対応できるよう保育室の間仕切り設置工事費、離島医療確保安定経費の普通交付税措置分の増額に伴う対馬病院等長崎県病院企業団負担金の追加、いづはら診療所等運営経費増加による診療所特別会計への繰入金等が予算補正計上され、本委員会で、慎重に審査し、採決した結果、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

産業建設常任委員会

委員長 大部 初幸

○付託された案件（1件）

- ①平成30年度対馬市一般会計補正予算（第3号）

○審議内容

- ①本委員会に付託された議案第55号、平成30年度対馬市一般会計補正予算（第3号）のうち、所管に係る歳入は、曲地区自然災害防止事業に係る地元負担金、市道目保呂ダム支線道路災害復旧事業等に係る国庫支出金、県支出金では、漁業近代化対策事業補助金の計上、ご当地アニメツーリズム事業等に伴う市債の計上が主なものであります。

歳出において、繁殖雌牛4頭分の導入に係る畜産クラスター構築事業補助金の計上、漁業所得向上に向けた経営改善や新たな事業展開を目指す漁業者に対する漁業用機器の整備に漁業等近代化対策事業補助金の計上、湯多里ランドつしまの温泉・プール施設、渚の湯等の観光施設等の修繕料の追加、国内観光客の誘致を推進するためのご当地アニメツーリズム事業費、厳原港国際ターミナル整備事業計画に伴う事業費等が予算補正計上され、本委員会で、慎重に審査し、採決した結果、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

常任委員会とは

市政は、範囲が広く内容も複雑なためいくつかの委員会を設置し、専門的知識や経験を生かし、付託を受けた議案等の審査や重要な事柄について調査をします。

本市議会には、総務文教・厚生・産業建設の3つの常任委員会があります。

一般質問 ここが聞きたい

9月定例会一般質問 8人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



一般質問とは

議員が議長の許可を得て、市長等に対し、市の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問を質し、報告や説明を求めるものです。

一般質問を行う場合は、通告書に要旨を記入し、事前に議長に提出します。

一般質問の時間は質問と答弁を合わせて50分以内としています。

◆美津島町東地区の水道事情
(小島) ①東地区では、濁水、異臭、断水等が発生。原因の究明は。②根本的な改善策は。
(市長) ①水源が乏しく、濁水期等に給水が不安定。濁水・異臭・断水の事故が発生。迷惑をおかけしている。②水質管理体制の強化、漏水対策の推進、新たな水源開発など将来を展望した給水体制の強化を図る計画検討を担当部署に指示している。

◆学校教育の安心・安全の確保について
(小島) ①学校のブロック塀の安全性 ②熱中症の防止対策 ③普通教室等のエアコン設置の必要性
(教育長) ①安全点検を実施、対策を指示。②万全を期すよう指導。③外気温の変化に対する適応能力を身につけさせる観点、対馬の気候条件、財源の確保ができれば検討したい。
(小島) 対馬の気温は、設置を決定した自治体より高い。扇風機では思ったような効果が出ていない。
(市長) 国のエアコン導入の方向性を受け、導入を検討したい。

③対馬版DMOの役割・設立の見直し。
(市長) ①主要施策、計画図がアクションプランである。②施設整備等を協議している。課題が山積している。③観光による地域づくり、戦略策定のために関係機関・団体と勉強会を早急に立ち上げる。



小島 徳重議員

◆観光振興推進計画の具現化について
(小島) ①アクションプランを策定すべきでは。②観光振興推進協議会の組織・活動状況。

◆65歳以上の世帯主の水洗トイレの維持管理費の助成金について
(大部) 水洗トイレは、維持管理費が必要である。簡易水洗トイレにしておけば良かったと後悔されている高齢者の声を聞く。高齢者の負担を少しでも軽く出来ないか。
(市長) 汲み取り費用と浄化槽の維持管理費用に差が生じない世帯もあることから、浄化槽の維持管理費への補助につきましては、現状では厳しいものと考えております。

できる限り早く実施したいが、予算等の兼ね合いもあり、現在の計画を進めていくしかないと考えています。
(教育長) 現在、小中学校の洋式トイレ設置状況は、各学校最低1か所はあります。教育委員会では、校舎の各階、職員用トイレ、体育館の男女別に最低でも各1台ずつ設置することを目標として、対馬市学校トイレ洋式化計画を、平成29年10月に作成しており、平成30年度から36年度までの7年間で、整備することとしています。

立小・中学校のトイレを和式から洋式への転換を要望していましたが、現在の進捗率、今後の進め方についてお尋ねします。また、学校は、災害時の避難所であるので、整備を早められませんか。



大部 初幸議員

◆小・中学校のトイレの和式から洋式への進捗状況について
(大部) 平成28年9月の定例会において、市



吉見 優子議員

◆観光名所の環境整備について

(吉見) 万松院、旧金石城・旧金石城庭園・清水山城の4か所が続いて国指定の文化財となっている所は、全国的に珍しい。にもかかわらず、万松院の庭、旧金石城の石垣は、樹木が繁り、グラウンドのトイレは昔ながらの汲み取り式で汚い。対馬で一番の観光地、城下町でもある。常に整備しておくべきと思いますが。

(市長) トイレについては、文化財史跡内というところで掘ることができない。今までの便槽で簡易水洗トイレができないか検討します。

(教育長) 櫓門から万松院までの石垣の除草は、平成28年から陸上自衛隊の協力をいただいている。国指定の史跡は、対馬の貴重な宝物であり観光資源です。予算を確保し、適正な環境維持を図っていきます。

(吉見) 常に整備しておくため、委託契約や指定管理制度等の利用はできないか。

(教育長) 今後の検討課題にします。

◆空き家対策と特定空家措置法について

(吉見) 特定空家等に対する措置法が、平成27年5月26日から施行されているが、市では、空家等対策計画を作成していますか。

(市長) 空家等対策計画は、平成31年に計画作成の予定です。

(吉見) 危険な空き家が県・市道沿いによく見受けられる。落下すると大変なことになる。早期に計画を作成し、事故が起きないように対策を講じてください。



長郷 泰二議員

◆障害福祉サービスについて(人工透析)

(長郷) 市内において人工透析をされている方は、治療のため自家

用車・バス利用・福祉法人の送迎により通院されています。治療後の疲労感から交通事故等の懸念も多く、バスにあっても、利用客が多いことから座ることができない、バスの接続が悪いなど大変苦労されています。障害福祉の観点から、その対策についての考えをお尋ねします。

(市長) 実態調査を行い、市としてどのような支援ができるのか関係団体と協議を行い検討してまいります。

◆学校環境衛生基準について

(長郷) 本年4月より基準が改正され、温度、照度の測定値の変更がされましたが、適切な対応がなされているのかお尋ねします。

(教育長) 学校により測定に差が生じているため、統一した調査を行い、適切な対応ができるよう努力します。

(市長) 保育環境についても保育所の設置基準の遵守に努めているところです。

◆新国富指標の捉え方について

(長郷) 本市は、一人当たりの新国富は5,518万円で九州ではトップですが、この指標をどのように生かしていこうとお考えか伺います。

(市長) 本市の自然資本は高評価されており、これらの資源を生かした6次産業化を推進していきます。特に、木材の利用については現在その利用のあり方を委託調査中であり、その結果をもつて検討を進めていきます。



春田 新一議員

◆対馬市の観光施策と北部の観光振興について
北部地域の特に千俵
蔭山の観光ルート整備
の取組について

(春田) 北部の方の観光箇所は滞在時間の稼げるルートが非常に少ない。観光客に1泊をさせていただくためには、井口浜から千俵蔭山までの道路の拡幅はできないかお尋ねします。

(市長) 観光ルートとしては、素晴らしい場所と認識をしています。道路整備については多額の予算が必要であり、別のルートを検討したい。

◆生活環境、安全、安心な施設の運用策について

(春田) 対馬市では、3か所のし尿処理施設により処理されているが、観光客の増加、宿泊施設も整備されているが、北部、中部の処理施設は順調に処理されているのか。厳美清華苑については施設の老朽化が予想され、また、処理能力も低下する。今後の対策についてお伺いします。

(市長) 厳美清華苑のし尿処理施設においては、汚泥が増加していることは認識している。早い時期に計画を立て、改修、増設の方向に取り組みたい。(平成31年度から平成32年度)

◆市立小学校の通学路の安全対策と校内整備について

(春田) 学校現場としては、通学路の点検は実施されていると思うが、教育委員会としての対策についてお伺いします。

(教育長) 通学路の安全対策としては、交通安全関係機関と連携し点検を進めていきます。

(春田) 各学校の学校整備への教育委員会としての支援策についてお伺いします。

(教育長) 毎年、学校施設の維持補修に努力しているところですが、今後においても、学校と協議をしながら維持管理に努めてまいります。



大浦 孝司議員

◆市の危機管理体制について

(大浦) 集中豪雨による避難勧告が、本年6月29日に発令されたところである。どのような体制で臨まれたのか。

(市長) 市長、副市長は、自宅待機、総務部対策室を中心とし対策本部により、対応した。

(大浦) 平成29年7月1日、瀬の集中豪雨では消防分団と区での対応により、辛うじて避難を逃れたと聞くと、市の対策本部の指揮系統は機能していたのか。

(総務部長) 体制は整えていました。瀬の区長さん、消防団の判断は、災害現場における自助・共助が機能したということで市も目指すところであります。過去にないような時間経過で大きな災害に発展し、役所にいながら、現場の状況を判断し、適切な指示が出せるか、指揮命令を及ぼす必要があるのか疑問です。

◆韓国観光客の苦情について

(大浦) 韓国人観光客より対馬への苦情が増えている。宿泊、飲食等へがほとんどであるが、今回、対馬釜山事務所が心配しているのは、このままだと観光客が減っていくことが予測されることであつたがどう思われるか。

(市長) 観光物産協会が昨年実施したアンケートでは、不満を感じた方は少ないことから、対馬の人々からの温かいおもてなしや、心を解放するような大自然など対馬で非日常を感じ、癒やされて帰られる観光客も多くいると感じております。対馬総おもてなし体制づくりを目指し、観光業者の皆様とともに取り組んでいきたいと思っております。



伊原 徹議員

◆本市における災害発生時の初動体制の確立について

(伊原) 防災会議の開催状況は。

(市長) 平成28年11月30日、市防災計画の修正と、長崎地方気象台による気象に関する講演などを実施した。

(伊原) 休日夜間帯の連絡体制は。

(市長) 夜間など、外部関係機関や市民から市役所へ緊急連絡が入れば、宿直員から防災担当へ連絡が入り、直ちに、登庁し、速やかに警戒本部の設置など、必要な対応がとれる体制を確保しています。

(伊原) 災害訓練及び災害復旧に係る関連機関との協定は。

(市長) 平成27年5月に県との共催による県総合訓練を峰町にて開催。翌年6月に、久田白子地区で県砂防課の協力により、土砂災害避難訓練を実施しました。災害時関連地元事業者との支援・協力等に係る協定は、県建設協会対馬支部を含め、5事業者と協定を締結しています。

◆燃油価格の是正について

(伊原) 燃油価格を本土並みに引き下げるため、離島活性化交付金の活用はできないか。

(市長) 国の補助金として、リットル当たり10円の支援策があり、更なる交付金を受けることは二重補助となり不可能である。

しかしながら市としては、各関係市町と連携しながら、国に対し、既存支援制度拡充や新たな支援制度の創設を求める要望活動等を粘り強く行っていくことが重要であると考えている。



波田 政和議員

◆対馬南部地区における道路整備について

(波田) 対馬南部地区(尾浦・浅藻区間)における道路整備の遅れと整備の長期化が懸念

される中、この状況を市長はどう考えているのか。

(市長) トンネル工事が終わるまでには県に要望を重ね、工事進捗が少しでも早くなる努力をしていきたい。

(波田) 道路整備が遅れることも考慮し、市民の生命を守るため、対馬南部地区に島外救急搬送用ヘリポート整備やドクターカーの導入ができないか。

◆波田 政和議員 各種質問について

(波田) 新ターミナルの完成までの間、少しでも利用者の利便性や高齢者等の方々へ配慮し、何かできないか。

(市長) 新しい国内ターミナルビルが、平成31年度末に完成予定であり、ターミナル前面に駐車場が整備されますと、駐車台数が増加し、動線も短くなることから利便性が向上します。ご不便をおかけしていますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆観光産業の方向性と対策や改善策について

(波田) 外国人観光客誘致を勧める上での行政の意気込みや責任の取り方など明確にすべきでは。

(市長) 観光事業については、官民一体で取り組むことが望ましいと思う。見せるだけの観光ではだめだ。対馬の素晴らしい食材を基に対馬らしさを展開していかなければならない。

所管事務調査報告

常任委員では、条例案その他議案の立案のためや問題点のある事務の改善を究明するため自主的にテーマを設定し、調査を行うことができます。調査結果については、報告書を議長に提出し、本会議において報告します。今定例会においては次のとおり調査報告がなされました。



■総務文教常任委員会

委員長 春田 新一

本委員会は、平成30年7月12日、お船江の現状調査等の調査・研究を行いました。

まず、お船江周辺現状と今後の整備計画について、現地に向かい、現状把握を行いました。石積み築堤は、4基入江に突き出しており、往時の原形を比較的良好にとどめていました。本格的な石垣修理は、史跡の指定を受けてから実施予定であり、国史跡の指定に向けて取り組み、将来を見据えて総合的な整備計画を求めるところであります。

次に、久田地区定住支援住宅に伺い、改修がなされ、定住者受け入れは万全と理解したところです。ただ、住宅を用意するだけでなく、定住に重要な要素である仕事の斡旋が重要であ

ると思われます。対馬ならではの特徴ある施策とPR活動に期待します。また、広い意味で島をあげU・イターンを推進して人口減少を食い止められるよう要望するものであります。

続いて、本庁において、普通財産の活用計画において、普通財産の現状と土地の各町の保有状況について、説明を受けました。土地・建物の有償貸付状況は、市全体で105件、うち建物27件であります。また、処分可能な普通財産は、市合計で11件ありましたが、平成28年度に、美津島町の5件を公売により処分しています。委員会として、未利用財産については、対馬市公共施設等総合管理計画と整合性を図り、利活用を進めていくよう期待します。

■厚生常任委員会

委員長 齋藤 久光

平成30年8月3日に、漂着ごみの処分方法等及び生ごみ等の堆肥化について、現地調査を行いました。

まず、対馬クリーンセンター中部中継所において、漂着ごみである発泡スチロールを分解、加熱しスチレン油を生成する油化装置を視察しました。

次に、生ごみ等堆肥化施設及び対馬クリーンセンターを視察しました。生ごみ等堆肥化施設には、堆肥化の機械が2基設置されており、1基当たりの処理能力は2トンとなっております。平成27年度の施設整備後、生ごみの回収量が少なく、本来の堆肥化につながっていないことが

ら、現在は、堆肥化機械2基のうち、1基のみの稼働状況であると説明を受けました。

次に、対馬クリーンセンターにおいて、漂着ごみの流木等を破碎する木材破碎機の処理状況について説明を受け、平成25年度に2台の破碎機を導入、1台を対馬クリーンセンターへ、もう1台を対馬クリーンセンター中部中継所に配置しております。平成29年度の処理状況は、合計で3,960袋約792トンであります。

現地調査終了後、厳原庁舎別館会議室において委員会を開催し、漂着ごみ等の回収、上対馬・上県地区の漂着木の破碎のための木材破碎機の活用等現在の作業工程をよく検証し、コスト削減を図るため機械及び車輛等必要な物については計画的に予算要求していくべきである。

油化装置については生成されたスチレン油が施設内消費に限られている現状から新たな利活用を踏まえた今後の計画や活用システムの構築を早急に進める必要がある。生ごみ等堆肥化施設については、未だに有効活用が図られていない現状を踏まえ、堆肥を安定的にどのように製品にしていけるのか、迅速に進めていただきたい等の意見・要望がありました。

■産業建設常任委員会

委員長 大部 初幸

本委員会は、平成30年7月31日、林業振興に関する調査・研究を行いました。

対馬森林組合を訪問し、同組合の事業概要等の説明を受け、その後に意見交換を行いました。

組合からは、施業の集約化・効率化、労働生産性の向上を図るための高性能林業機械の導入、木材の集積及び選別を一体的に行い、効率的な輸送を行うための中間土場の整備、作業従事者の担い手不足の解消などが大きな課題であり、市の支援や協力を強くお願いしたいとの意見がありました。その後、施業済み、また今年度施業予定の市有林の現地視察を行いました。対馬市の森林面積は、国有林5,074ヘクタール、民有林58,165ヘクタールであり、民有林のうち人工林は19,817ヘクタールであり、その3%が市有林のスギ、ヒノキである等の施業実績、また、売払実績については、材価の低迷により、利益は少額との説明を受けました。続いて、対馬の木材流通や木材輸出の現状、Jクレジットの森林保全への取り組み、しいたけ生産の推移、外国向け輸出や未利用木材の木質バイオマス資源としての利用等、木材の利用拡大と今後の取り組みについての説明がありました。

委員からは、市有林の施業面積が少ないのではないかと、市有林の一部でも模範林としてはどうか、活用されていない廃校を中間土場として活用することはできないか、しいたけ原木の供給体制の確立や種駒補助の見直しはできないか等の意見がありました。

また、担い手不足の解消や木材の品質、規格の統一は重要なことであり、市としても林業振興を図るためにも施業者間の連携強化等は喫緊の課題であり、議会としても何らかの方策を練る必要があるとの意見で一致しました。

三 議員研修及び行政視察

住民が望む議会改革

大村市で長崎県市議会議員研修

平成30年8月23日(木)

長崎県市議会議長会主催で、大村市のシーハットおおむら(さくらホール)において、長崎県市議会議員研修会が開催されました。県内各市の議員が参加し、講演を通じて知識を深めました。対馬市議会からは6人の議員が参加。「議員立法・政策立案の基礎と実践」住民が望む議会改革とは「について、自治体法務ネットワークの森幸二氏を講師に迎えました。森氏は現役の北九州市職員。「議員は住民の代弁者であり、住民の存在そのもの」と、住民の権利を守る働きは、決して口利きではないと話されました。

また、「議会は、条例という「まちづくり



契約」の制定を通して、それぞれの自治体においてあるべき社会を形成する役割と権限を持っている。」と、条例は、一人ひとりの住民の生活に直接影響する内容をもっていると説明されました。

タブレット端末の効果、利便性を研修

諫早市議会で行行政視察

平成30年8月24日(金)

対馬市議会において、9月定例会から、議会資料の閲覧、管理にタブレット端末を使うことになっている中、先進地である諫早市議会を視察しました。本市議会から6人の議員が視察。諫早市議会では、平成27年度から実証試験事業としてタブレット端末を導入。操作方法及び活用方法の習得、課題等の抽出等を行い、現在では、開催通知や事務連絡等、議会事務の効率化及び省力化や、膨大な資料の管理・閲覧が可能となり、屋外でのインターネットによる情報収集や、記録用の動画、写真撮影、録音、メモなどに活用しているとの説明がありました。



また、諫早市議会定例会では、紙ベースとタブレット端末を併用。本市議会でも、9月定例会から紙と併用してタブレット端末を導入し、来年6月からのペーパーレス化を実施するところでありま

市議会にタブレット端末機導入

9月定例会から、タブレット端末機を使った議会がスタートしました。議案等に係る用紙等の削減、通知文書の省略等、労務の改善、効率化を図るため、タブレットを利用したペーパーレス会議を導入するものです。今定例会においては、まだ、紙の資料とタブレットを並行使用して、議会運営を行いました。来年6月定例会からは完全ペーパーレス会議に移行します。また、議員においては、タブレット導入に備え、端末機の使用等の研修を7月24日・8月6日開催し、9月定例会に臨んだところで、今定例会においては大きなトラブルもなく、スムーズに導入・運営することができました。

議員研修

- 日時 平成30年7月24日(火)午前10時
- 会場 市役所豊玉庁舎3階大会議室
- 演題 議会の政策提言・政策立案の強化
- 講師 吉田利宏氏(元衆議院法制局参事)
- 目的 政策形成を担いうる議会となるよう、議員個人の政策能力を向上させ、議会の政策形成機能の強化を図るため、講師を招聘し研修を行いました。



元衆議院法制局参事の吉田氏を講師に招き、市民のいろいろな意見等をどのようにして議会からの政策提言・立案に結びつけられるかについて、お話をさせていただきました。まずは、議会の役割を再考すること、批判を意識することでありました。批判を考えることで想定問答ができあがり、政策立案につながっていくということでした。議会の常任委員会の所管事務調査においては、報告書には必ず提案を入れること、または一般質問等に行き行く姿勢が重要であるとのことでした。

議会としては、議事機関として、政策立案等の機能が十分発揮できるよう、議員として日々、研鑽に励むとともに、併せて議会事務局において、議会活動を的確にサポートをしていただき、議会の活性化を図っていくとの、決意を新たにしております。

編集後記

今年の夏は、近年経験したことのない猛暑が日本各地を襲いました。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、お彼岸を境に暑さも和らぎ、秋の行楽シーズンを迎え、やがては、対馬の山々が紅葉の季節を迎えます。

また、自然災害も、平成28年4月の「熊本地震」・平成29年7月5日から6日の「九州北部豪雨」、今年の6月28日から7月8日の「平成30年7月豪雨」、8月28日に日本列島に上陸した「台風21号」、最近では、9月6日の「北海道胆振東部地震」等々の自然災害により、各地においておおきな被害に見舞われました。お亡くなりになられました方々のご冥福と、甚大な災害に遭遇されました各地域の一日も早い復旧・復興を願うものであります。

さて、「議会だより」は、議会定例会(毎年3月・6月・9月・12月開催)の内容等を中心に、毎年、4回発行することとしています。

よって、今回で2回目となりますが、今年、最後の発行になろうかと思えます。市民の皆様は親しまれ、愛読いただくために、なるべく横文字は使用しないように心がけています。

この「情報誌」が市民の皆様と議会の橋渡し役として親しまれる誌面作りを目指します。皆様方の率直なご意見・要望等を「ドシドシ」お届けくださいますようお願い申し上げます。

(文責：小田)



広報編集特別委員会

委員長 小島徳重
副委員長 小田昭人
委員 坂本充弘・吉見優子